

MACHIDA BOUSAI COLLEGE

まちだ防災カレッジ

Vol.7

8

2024



《特集》

避難施設の運営とは

避難施設関係者事前研修

第九消防方面と合同開催！

5年ぶりの総合水防訓練

日常に防災を

まち歩きが防災に(本町田町内会)

避難施設関係者事前研修

240名の方にご参加いただきました

事前研修

昨年度から実施している避難施設関係者事前研修では、
・地域主導の避難施設運営が各避難施設で行われること
・避難施設だけでなく、地域としての避難の在り方を確立すること
を目的として、開催しています。

年度が替わるたびに技能や知識の積み上げができず、防災課主導の訓練になってしまいうという声を多くいただいたため、連絡会シーズンを前に統一した研修を行っております。

研修では、地域で防災活動に取り組まれている方による講話をいただき、風水害時・地震災害時の避難施設開設方法、開設訓練を振り返りま



冒頭あいさつをされる町内会自治会連合会長

午前の部講話 「災害時 最優先する事は・・・」

午前の部では、成瀬中央自治会の山垣氏にご登壇いただきました。阪神・淡路大震災を経験し、日頃から地域での防災活動をする方向けに、お話しいただきました。

印象に残ったことは、「自分自身と家族の安全確保」を最優先にすることです。

地域で防災担当に選ばれたけど、何をしたらいいのかわからないという方が多くいます。まずは、山垣さんのおっしゃる通り、自分が助かることが大切です。

また、平常時は、在宅避難ができる備えをしておくことが大切とのことでした。

みなさんは、ローリングストックしていますか？家具の転倒防止をしていますか？今一度、確認してみましよう。

そして、向う三軒両隣のお付き合いを大切に、をモットーに日頃から活動されているそうです。



▶阪神・淡路大震災の被災経験から日ごろの備えについて講演いただきました

午後の部講話 「防災レジャを活用した取り組み紹介」

午後の部では、高瀬住宅自治会の藤林氏にご登壇いただきました。

高ヶ坂成瀬地区町内会連合会では、2022年度から高ヶ坂小学校にて「高ヶ坂防災フェスタ」を実施しています。

藤林氏は、「発災時でも、自分のことは自分でやる必要がある」とイベント参加者には毎回語り掛けているという。

取組みを始めたきっかけは、東京都の被害想定が見直された2022年。実は、その前からも計画はしていたが、感染症拡大もあり、断念してきた経緯がある。

イベントを通じて、災害は誰しもに訪れ、個々が減災に取り組むことで、地域の人々が支えあうきっかけになればと藤林氏は語る。

イベントでは、町田市防災課だけでなく、消防署や警察署も参加している。また、予算面では、東京都の補助制度地域の底力事業を活用しており、「少し手間はかかるが、活用できる制度はしっかり活用したい」と語ってくれた。

詳細は、まちだ防災レジャポータルサイトをご覧ください。



▲高ヶ坂小学校では、地域住民が課題を抽出し、テーマを設定し、地域住民向けに防災イベントを実施

地域備蓄について

昨年の夏に実施しました地域備蓄ですが、ご好評につき、今年度もHPから随時受付しております。自主防災組織の備蓄や保管スペースの現状に合わせてご活用ください。※地域備蓄については、まちだ防災レジャVol.5(2023・12発行)をご覧ください。

今年度は、「非接触型体温計」を希望する自主防災組織に各1つ配布しました。受け取りを希望する組織は、防災課までご連絡ください。

最後に

今回の研修会では、個別避難計画やいのちに関する内容もお伝えいたしました。

実施後のアンケートでは、

- ・補助金額が少ない
- ・もう少しテーマを絞った研修を実施してほしい
- ・被災地での実経験を踏まえた話を聞いてみたい
- ・学校統合について詳しく知りたい
- ・まずは自分の身を守ることの大切さを知った
- ・もう少し、初動対応について深掘りしてほしい

といった意見がございました(抜粋)。

今後の連絡会や開設訓練でも避難施設ごとに発災時の動きや対応について、確認を予定しております。



▲今回の研修会では、株式会社グリコ様にもご協力いただきました



総合水防訓練を開催しました

5年ぶりの 総合水防訓練

総合水防訓練とは…

総合水防訓練とは、台風並に集中豪雨等による河川の氾濫等の風水害に速やかに対応するため、市消防団、町田消防署をはじめとする関係機関が連携して、水防態勢の確認や水防工法及び救出救助の技術向上を図ることを目的として開催しています。

2019年を最後に、新型コロナウイルス感染症を理由に中止しており、実に5年ぶりの開催となりました。

第九消防方面本部とは…

第九消防方面とは、東京消防庁を10つの方面にわけたうちの1つです。その中でも第九方面は、東京消防庁管轄地域の約50%を占める東京都の西多摩地域・南多摩地域の8市3町1村170万人の都民の方々の生命と財産を守っており、8署（八王子消防署、青梅消防署、町田消防署、日野消防署、福生消防署、多摩消防署、秋川消防署、奥多摩消防署、1分署由木分署、21出張所と連携して、管轄する地域の防災を担っています。

特に、東京消防庁管内で山岳地域を有するのは、第九消防方面本部のみであり、八王子消防署、青梅消防署、秋川消防署、奥多摩消防署の4署にそれぞれ山岳救助隊が配備されています。

また、大規模複合災害に備え、第九消防方面本部消防救助機動部隊（通称：9本ハイパーレスキュー）を有しています。



水防工法

河川からの溢水、市街地における地下への浸水等による被害を防ぐため、土のうを使用したさまざまな水防工法を実施しました。土のうは置くだけではなく、叩いて固めることで強度を強くするんですね。



救出救助演習…

土砂災害を想定し、
・道を塞いでいる車を移動する道路啓開
・土砂に埋まった車両からの人命救助
・土砂に埋まった家屋からの人命救助を実施しました。



訓練のようす



防災まち歩き



みなさんは普段歩いているとき、何を考えていますか。「今日は何を食べようかな」「今日も暑いな」「雨降りそうだな」というようなことがあると思います。たまたま、そんな日常も、ひとたび地震が起きるとその時間も一変します。

防災まち歩きとは…

自分たちが住む地域を防災の視点で改めて注意しながら歩くことで、普段では気づかない危険箇所や防災設備などを再認識し、防災意識の向上を図ることを目的として行うものです。

今回は、普段生活しているまちを防災の視点を持ちながら歩く「防災まち歩き」に取り組んだ本町田町内会さつきヶ丘地区の方にお話を伺いました（本町田町内会長平本純一・26・2世帯、さつきヶ丘地区長箕輪優・24世帯）。



防災まち歩きのようす

① まち歩きを始めたきっかけ

このところ、日本各地で地震が多発しており、特に本年元日の能登半島地震の甚大な被害状況や、南海トラフ地震、首都直下型地震の恐れが喧伝されていることに心理的に追い詰められた状況にもなっていました。

そこで、本年度、本町田町内会さつきヶ丘地区では関係各所にも了解を取り付けたうえで実施したものです。

② 参加者の反応は

まち歩きに参加した方からは、「年に1回は実施したい」「同じ町内会員として、交流がはかれた」といった自然と、自助・共助につながる声もあがり、取組みの手ごたえを感じた。

また、コース途中に確認をした防災倉庫の中身を、「救助セットや搬送器具、生理用品など、もっと実践的な物にして欲しい」という要望も出るなど、需要を確認する機会にもなった。



③ 実施前と実施後での変化は

「まち歩き」に参加された方からは、

- ・電柱や街頭消火器に自然と目が行くようになった
- ・消火器の構造・取り扱い要領のレクチャーを受けて非常にためになった
- ・災害時協力井戸を実際に体験したことから、災害時の井戸（水）の大切さを知った
- ・AEDに関心を持つようになった
- ・コース途中の「崖崩れ箇所」を実際に歩いたことから、「ハザードマップ」に関心を持つようになった
- ・地区で管理している「防災倉庫」の内容確認をすることが出来たので非常に良かった
- ・コース内にある高齢者施設を見学し、職員から説明を受け、たこと地区内の現況を意識するようになった など

と、防災まち歩き実施後には、日常生活の景色に防災がプラスされている声も、主催者の耳に多く届いたという。



インフォメーション

防災WEBポータル
発災時、避難施設の開設状況などを確認できます。



まちだ防災カレッジ Instagram
・イベント情報や防災に関する情報を発信しています。



東京都町田市(防災・安全・気象情報)(町田市公式)
防災・気象・地震情報などを配信しています。



キキクル
大雨などで発生する恐れのある、土砂災害、新水害・洪水の危険度分布を確認できます。



まちだ防災カレッジポータルサイト
町田市防災における普及啓発に関する取り組みを集約しています。避難施設での取り組みも今後PR予定です。



★不妊・去勢手術
災害に伴う逸走時の繁殖を防止するためにも、性特有の病気の予防にもなります。

★寄生虫駆除
ペットがノミなどの寄生虫をもっている、他のペットや人にうつすおそれがあります。ペットや飼い主自身を守る意味でも、定期的な駆除を行ってください。

★ワクチン接種
避難施設では、多くのペットと同じ場所で生活することになります。感染症を予防するため、ワクチン接種を行ってください。

★ペットの健康管理
日頃からペットの習性、性格に合った飼育方法を心がけ、健康を保つようにしましょう。

ペットと災害を乗り越えるためのポイントを、シリーズでお伝えしていきます。



ペットの災害対策③



実施日:5月25日(土曜)

④ 今後の展望は
今回の「防災まち歩き」が非常に評判良かったことから、参加者から、近隣の町内会の方々と連携して、「防災まち歩き」をしながら、第二回目の開催を企画しております。